

## 県建設コンサルタント協会総会



坪内 己喜男氏

# 新会長に坪内氏

通り可決承認した。

役員改選では、理事8

人のうち5人が新任。坪

内新会長は「次代を見据えて若返りを図った。新型コロナが懸念される状況把握に努めたい」と抱負を語った。

県建設コンサルタント協会(篠原誠会長)の2

020年度通常総会が15

日、鹿児島市のホテル

ウェルビューかごしまで

あつた。任期満了に伴う

役員改選が行われ、新会

長に坪内己喜男氏(南日

本技術コンサルタント)が就任。新型コロナウイ

ルスの感染拡大が懸念さ

れる中、有事に備えた体

制構築も呼び掛けた。

議事では、岩井健氏(三州技術コンサルタント)を議長に3議案を支予算案などを全て原案

議事では、岩井健氏(三州技術コンサルタント)を議長に3議案を支予算案などを全て原案



新年度事業計画は、  
① RCCM等の資格取得支援②専門部会(道路・河川砂防・橋梁・農業土木)および技術協力部会の活動推進③技術講習会、法令順守研修会の開催など。

総会に先立ち行われた表彰式では、加入継続20年以上の会員として福永技研を表彰。3

新たな顔ぶれが並んだ役員=鹿児島市ホテルウェルビューかごしま

期6年にわたって会長職を務めた篠原氏(鹿児島土木設計)は相談役に就いた。

新役員は次の通り。

会長=坪内己喜男▽副

会長=西川晃央(大亞測

量設計)上野竜哉(新日

本技術コンサルタント)

▽理事=塚田賢太郎(ア

員外)福田真也(大福コ

ンサルタント)▽相談役

=篠原誠

ジア技術コンサルタント)中西修(霧島エンジニアリング)原田隆男(新和室

屋祐介(日峰測地)福留勝(久永コンサルタント)

▽監事=塩倉宏(税理士、

技術コンサルタント)室

県建設コンサルタント協会の副会長を3期6年務め、新会長に就いた坪内己喜男氏(南日本技術コンサルタント社長)。篠原誠前会長とともに会員技術力の向上に尽力してきた統率・指導力で、さらなる業界発展が期待される。課題や展望を聞いた。

(老谷真里奈・報道部記者)



県建設コンサルタント協会

**坪内 己喜男**

会長

——就任の抱負を。  
协会は、地元の技術力向上を図りうる自社の社長だった岩下秀雄氏が1985年に設立。その思いを先代の会長らが引き継ぎ、自分がバトンを受け取ったことは何よりも感慨深い。格式ある組織として高度かつ専門・創造的な提案要求に応えられる技術を定着させていきたい。

今回の役員改選では世代交代が進み、役員の若返りが図られたが、昨年そ

が図られた。会員数27社というコンパクトさを強みとし、横のつながりを一層深めて若い世代にバトンをつなげたい。

——課題と展望は。

品確法や新扱い手3法制定で働き方改革が本格的に施行される中、いかに生産性を向上させるかが大きな課題。それぞれが効率的な働き方を推進しているが、企業努力には限界がある。さらなる平進化を

# 横の繋がりで技術力底上げ

お願いしたい。

担い手不足によって技術の空洞化が顕著と

人という立場からパンフレット配布などの広報活動を行い、学生らにコンサルの仕事・魅力をアピールしていく

識を持つ集団であり、会計検査時の助言など

共和国の循環道路設計に携わった。英語で図面を解説するなど四苦八苦し、貴重な経験と

は。

30代のとき、ナウル

がある。

として思い出に残っている。また、国道328号のルート検討も時間

がかかる大変だった。

その分、今でも通るたびに当時の記憶が蘇り、自分のイメージしたものが利便性の高い道路として形になっていることに満足感を感じている。

## 業界VOICE 今後の課題と展望



——新たな取り組みは。

防、農業土木の4部門で専門部会を設置し、技術の向上・共有を図ってきたが、昨年そ

見据え、各種フォーラム、研修会で時代に適応した情報を周知する

CIMへの対応をはじめ、ICT・AIを活用した生産プロセス改良などに取り組む必要

は。

県外大手との競争を見据え、各種フォーラム、研修会で時代に適応した情報を周知する

ことでも重要。BIM/CIMへの対応をはじめ、ICT・AIを活用した生産プロセス改良などに取り組む必要

がかかる大変だった。

その分、今でも通るた

がかかる大変だった。

フレット配布などの広報活動を行い、学生らにコンサルの仕事・魅

力をアピールしていく

相談に対応すること

を目的としている。

クライアントのあらゆる相談に対応すること

を目的としている。

会計検査時の助言など

として相談に対応すること

を目的としている。

クライアントのあらゆる相談に対応すること

を目的としている。

会計検査時の助言など

として相談に対応すること

を目的としている。

クライアントのあらゆる相談に対応すること

を目的としている。

クライアントのあらゆる相談に対応すること

を目的としている。

クライアントのあらゆる相談に対応すること

を目的としている。

クライアントのあらゆる相談に対応すること

を目的としている。

として相談に対応すること

を目的としている。

として相談に対応すること

を目的としている。

### 【プロフィール】

1971年に県立鹿屋工業高校を卒業後、大阪の建設会社に就職。73年に南日本技術コンサルタントに入社し、技術者として多くの構造物を設計。2002年に社長に就任した。趣味はゴルフや映画鑑賞など。1日40分、自宅のエアロバイクで汗を流すのが若狭の秘訣。67歳。